

ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立八戸高等支援	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input checked="" type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	前期の振り返り		
	単元(題材)の目標	他者評価をしてアドバイスをする		
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	2 年 6 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元(題材)における主な実態を端的に記入する。 <input type="checkbox"/> 口頭指示の理解ができる。6人中5人がスマートフォンを所持しており、所持していない生徒も将来的に持ちたい気持ちがある。そのため、タブレット端末を使うことに抵抗がない。相手に気持ちを伝えることが苦手である。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 iPad		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 グーグルフォームズ	アプリマーク 	
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援)		
	ICT活用のねらい	他者評価は面と向かって正直な気持ちを伝えることが難しいため、ICT を通じて自分の気持ちを伝える。全員で情報を共有する。		
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 QR コードをテレビに映しだし、生徒は iPad のカメラ機能で読みとり活動に取り組む。「できている」「できていない」「わからない」の3択にして選択できるようにした。誰が送信したかわからないため、正直に「できていない」を選択していた。←話し合いをしたときは、「話さない」「できてるんじゃない」のような曖昧な答えが多かった。 また結果が棒グラフで見られるため、結果を読み取れない生徒はいなかった。 その次に「できていない」項目についてアドバイスをする QR コードを写しだし、生徒はカメラ機能で読み取り活動に取り組んだ。 授業の感想では、「正直に意見を言えた」「字を書くのが苦手な人には良い」「iPad を使えて楽しかった」との意見だった。 ※「わからない」の選択肢は必要。 場面を見たことがない、遭遇したことがないから評価のしようがない。「わからない」を入れてほしいとの意見があった。			